〔木造軸組工法〕
工事監理状況報告書【中間検査用】

年　月　日

建築主事　様

報　告　者　　住　　所
(工事監理者)　　事務所名
氏　　名

下記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第５項の規定により次のとおり報告します。

建築主氏名		
工事場所		
確認済証	年　月　日	第　　号
	確認機関名	
計画変更確認済証	年　月　日	第　　号
	確認機関名	

工事監理の状況

確認事項		確認を行う照合内容	工事監理者確認結果※1 A目視確認 B計測確認 C書類確認	結果	検査員記録※2 結果
1	(法89)確認表示板	□ 建築確認表示板の設置	A	適・不	適・不
2	(法90)工事現場の危害の防止	□ 仮囲い,防護ネット,山留	A	適・不	適・不
3	(法19)敷地の衛生及び安全	□ がけ・擁壁の安全性,敷地の衛生及び安全	A・B・C	適・不	適・不
4	(法40,42,43)敷地と道路の関係	□ 道路の幅員	A・B・C	適・不	適・不
		□ 道路に接する敷地の長さ	A・B・C	適・不	適・不
		□ 敷地内通路,専用通路の幅及び長さ	A・B・C	適・不	適・不
		□ ２項道路の後退	A・B・C	適・不	適・不
5	(法52～54)敷地形状,容積率,建蔽率	□ 敷地形状及び高低差	A・B・C	適・不	適・不
		□ 基礎形状・建物形状	A・B・C	適・不	適・不
		□ 建物配置(道路,隣地からの離れ)	A・B・C	適・不	適・不
6	(法56)斜線制限	□ 建築確認図書の立面図との照合	A・B・C	適・不	適・不
		□ 道路,隣地,北側敷地境界線からの後退距離の確認	A・B・C	適・不	適・不
7	(令38,告示1347)基礎・地盤	□ 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法(　　)	A・B・C	適・不	適・不
		□ 地耐力が得られなかった場合の措置 措置の内容(　　)	A・B・C	適・不	適・不
		□ 基礎種別の確認(連続,べた,独立,杭)	A・B・C	適・不	適・不
		□ 各部材の形状,寸法の確認	A・B・C	適・不	適・不
		□ 配筋の確認(径,間隔,かぶり,継手,定着,貫通補強等)	A・B・C	適・不	適・不
8	(令22)居室の床の高さ及び防湿方法	□ 床の高さ,床下換気口又これに代わる措置	A・B・C	適・不	適・不
9	主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)	□ 木材,コンクリート,鉄筋,屋根材,外壁材,接合金物等の種類・品質・形状・寸法	A・B・C	適・不	適・不
10	(令42)土台	□ 基礎との緊結(アンカーボルトの位置・接合方法)	A・B・C	適・不	適・不
11	(令43)柱	□ 柱の小径,有効細長比	A・B・C	適・不	適・不
		□ すみ柱又はこれに準ずる柱	A・B・C	適・不	適・不

12	(令44)横架材	□ 中央部下側の欠込み	A・B・C	適・不	適・不
13	(令45)筋かい	□ 形状･寸法	A・B・C	適・不	適・不
		□ 欠込み部の補強	A・B・C	適・不	適・不
14	(令46)構造耐力上必要な軸組等	□ 耐力壁の配置(壁量計算書,軸組のバランスチェックシートとの照合)	A・B・C	適・不	適・不
		□ 火打材	A・B・C	適・不	適・不
		□ 小屋組の振れ止め	A・B・C	適・不	適・不
15	(令47)構造耐力上主要な部分である継手又は仕口	□ 筋かいの端部における仕口(筋かいプレートによる接合)	A・B・C	適・不	適・不
		□ 軸組の柱脚･柱頭の仕口(ホールダウン金物等による緊結)	A・B・C	適・不	適・不
		□ その他の継手又は仕口	A・B・C	適・不	適・不
16	(令49)防腐防蟻措置	□ 防腐･防蟻措置(土台･柱･筋かい)	A・B・C	適・不	適・不
17	その他※3		A・B・C	適・不	適・不
			A・B・C	適・不	適・不
			A・B・C	適・不	適・不
			A・B・C	適・不	適・不
			A・B・C	適・不	適・不

指示内容※4

検査に用意する図書の例※5

確認関係図書	■確認申請図書　■告示第1347号による基礎構造図
工事監理記録	■支持地盤確認　■基礎配筋検査　■軸組検査　■その他検査・確認
使用材料の品質を示す書類（写真も可）	■鉄筋・鉄骨ミルシート　■コンクリート納入書・試験結果等 ■木材納品書　■その他使用材料品質証明書
その他	■工事写真　■各種施工結果報告（杭・地盤改良等）　■各種施工要領書

検査に用意する工事写真の例

材料		・構造耐力上主要な部分（鉄筋などの中間検査時に見えない箇所）
施工状況（適切な工事監理の実施が確認できれば、全箇所でなく種類毎の写真提示も可）	基礎	・支持地盤の状況
		・基礎配筋の状況（底盤、立上り、開口補強、配管用スリーブ等）
		・アンカーボルト（ホールダウン用、土台用）の設置状況（埋め込み長さ、フック）
		・型枠施工状況（各部の寸法等）
	木造の部分	・接合部に応じた接合具の種類、本数
		・耐力面材に用いられる接合具の種類、間隔

※1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に、不適合は「不」に〇印を記入してください。（該当しない項目は記入しないでください）
※2 太線枠内は記入しないでください。
※3 確認事項の項目にないものは、「17その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。
※4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号（例：3-1）と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。
※5 「■」の図書について、該当する工事がない場合は用意不要です。